



東京理科大学報

TUS Journal

Fujimi

富士見校舎竣工

特集

メカニズムを
理解して、
健康な身体を
目指そう

vol. 201

経営学部の新校舎である富士見校舎の馬蹄形教室

物華天宝

Tough Mind and Tender Heart

現在教育の世界は、道徳の教科化、高校教育や大学入試制度の変革、少子化による学校減数、いじめや非行の低年齢化と深刻化、家庭や子どもの貧困問題など、いまだかつてない大変動期を迎えています。この変動は試練であり、大人にも子どもにも、課題解決能力や創造性が強く求められます。

本学の学生は、知性や社会性は高いですが、創造性＝創意・工夫する力に欠けている学生が多い気がします。この原因としては、困難や孤独に対して逃げたり、諦めたりせずに、情報収集と試行錯誤を繰り返して解決

するという経験が不足しているように思います。教育は、未来志向の営みです。そのためには、教師自身が、個性的で創造的であることが大切です。しかし、現実には、このような教師は少数です。

私の願いの一つは、本学学生がその少数派の教師として、日本や世界を牽引してほしいということです。キング牧師の有名な言葉に、「いつも、創造的でひたむきな少数派が世界をより良いものにしてきた」とあります。今後も、本学教員養成に注力したいと思います。
(教育支援機構教職教育センター・教授 八並光俊)

Headline

- 02-03 特集 健康な身体を目指そう
- 04-05 平成28年度 入学式を挙行
- 06 平成28年度予算
- 07 平成28年度事業計画が決定
- 08 Labo Scope
- 09 一般入試、志願者数が5万1,000人を超える
- 10-11 新任教員紹介／名誉教授称号授与
- 12 優秀研究者賞
- 13 富士見校舎竣工
- 14 平成27年度学位記・修了証書授与式を挙行
- 15 諏訪東京理科大学ニュース
- 16 学部全体で94.5%が進路決定

メカニズムを 理解して、

健康な身体を 目指そう

肥満やアレルギーなど、私たちの多くが抱えている健康上の問題。でも、それらの問題が身体の中でどのようなメカニズムによって引き起こされているかを知っていますか？
特集では、体内のメカニズムについて説明するとともに、毎日の健康を作り出すための「実践編」も紹介します。

研究

1

ミトコンドリアの質を高め、量を増やして健康で若々しい身体を保つ

薬学部 生命創薬科学科 樋上 賀一 教授

人間の体内に存在する脂肪細胞には「白色脂肪細胞」「褐色脂肪細胞」の2種類があります。このうち、皮下脂肪や内臓脂肪は白色脂肪細胞で、「余剰エネルギーを蓄えておく貯蔵庫」としての役割を持っています。一方、褐色脂肪細胞は逆に「エネルギー消費の場」として働きます。脂肪細胞でありながら、細胞内で脂肪を燃やして熱を作るという機能を持っているのです。

この機能をつかさどるのが「ミトコンドリア」です。ミトコンドリアとは全身の細胞の中にある小さな器官の一つ。酸素を利用して、糖や脂肪酸からATP（アデノシン三リン酸）というエネルギー源を作り出します。細胞はこのエネルギーを使って新しい細胞を作ったり、傷ついた細胞を修復したりしています。そのため、ミトコンドリアが多いほどいわゆる“代謝の良い身体”ということになります。

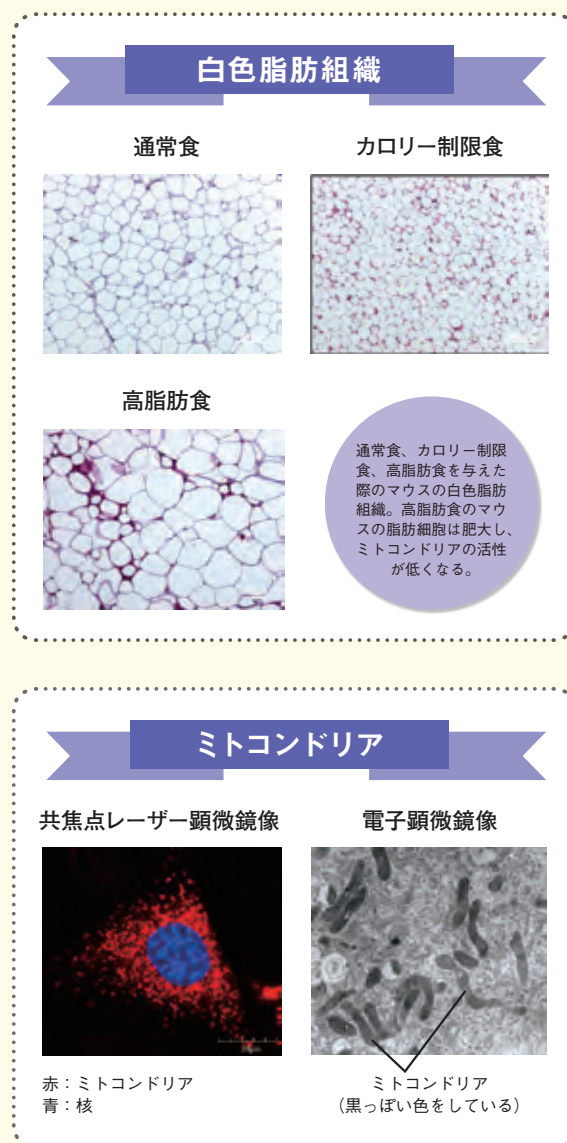
ミトコンドリアは、加齢のほか、過食や運動不足などの悪い生活習慣によって減少し、機能も衰えます。しかし、多くの研究によって、ミトコンドリアは年齢に関係なく増やすことができることがわかっています。では、ミトコンドリアの質を高め、量を増やすには、どうすればいいのでしょうか？

ひとつは『定期的に運動する』こと。運動によってATPが消費されると、体は「もっとエネルギーを作らなければ」と認識してミトコンドリアを増やします。筋肉の細胞にはミトコンドリアが豊富に含まれているため、運動によって筋肉の量を増やすことでミトコンドリアの量も増え、体全体のミトコンドリアの働きも活性化します。

もうひとつは『空腹』です。カロリー制限によってミトコンドリアの再生が促されるのです。実際、カロリーを30%減らした食事を6カ月間続けると、白色脂肪組織中の脂肪細胞は小さくなり、ミトコンドリアの量が増加し、活性が高まることが実験によって確認されています。

昔から健康の秘訣としてよく知られている「運動」と「腹八分目」は、科学的にも証明されているのです。

ひがみ・よしかず 1986年、長崎大学医学部医学進学課程卒業。90年、長崎大学医学研究科博士課程修了。米国テキサス大学サントニオ校ヘルスサイエンスセンター生理学教室・アシスタントインストラクターに。93年、長崎大学医学部病理学第一講座・助手。同講座、助教授を経て2001年、米国ウィスコンシン大学マディソン校内科学教室visiting assistant scientist。07年から現職。



実践編

WALKING

運動は「無理せず、楽しく、根気よく」毎日のウォーキングで健康維持に努めよう

理工学部 教養 清岡 智 教授

現代人は一般に運動不足で、健康維持のために日頃から適度な運動をすることが推奨されています。いつでもどこでも誰でもできる「ウォーキング」で運動習慣を身に付けましょう。

ポイントは「背筋を伸ばし、歩幅を広くして、1秒間に2歩ぐらいのペースでスタスタと歩く」こと。登下校や出勤時、ランチへの往復、帰宅時など、日々の生活の中にウォーキングを取り入れることで習慣化することができます。大切なのは「楽しみながら運動する」こ

とです。苦痛（しかめっ面ベース）にならない程度のニコニコペースで能動的に楽しくウォーキングやジョギングを行うことにより、NK細胞の活性が高まり、免疫力がアップすることがわかっています。

運動を2〜3カ月継続すると、誰でも自分の体の変化に気づくことができます。また、体重や体脂肪率、筋肉量、基礎代謝量などを定期的に測定することで、運動効果が実感でき、モチベーションを高めることができます。



きよおか・とむ 1979年 東京理科大学理工学部機械工学科卒業。82年 日本大学文学研究科教育学（体育）専攻修士課程修了。国立職業リハビリテーションセンター非常勤講師。85年、東京理科大学助手。同講師、同助教授を経て2008年から現職。

研究

2

免疫の仕組みを解明してさまざまな病気の治療に応用

基礎工学部 生物工学科 西山 千春 教授

免疫とは、「疫（えき）病から免（まぬが）れる」と書き、本来は、私たちの体を病原体の感染から守るために備わっている機能を指す言葉です。

生体に備わった免疫システムは、体内に侵入した細菌やウイルスなどを「異物（自分以外のもの）」として攻撃することで、身体を正常に保つという大切な働きをします。

しかし、この免疫システムが正常に機能しなくなり、自分自身の正常な細胞や組織にまで過剰に反応して攻撃を加えてしまうことがあります。これがアレルギーや自己免疫疾患などを引き起こす原因です。そのため、私たちは、免疫反応に関わる細胞における遺伝子発現の仕組みを分子レベルで解き明かしながら、生体内での細胞機能調節の可能性を探っています。

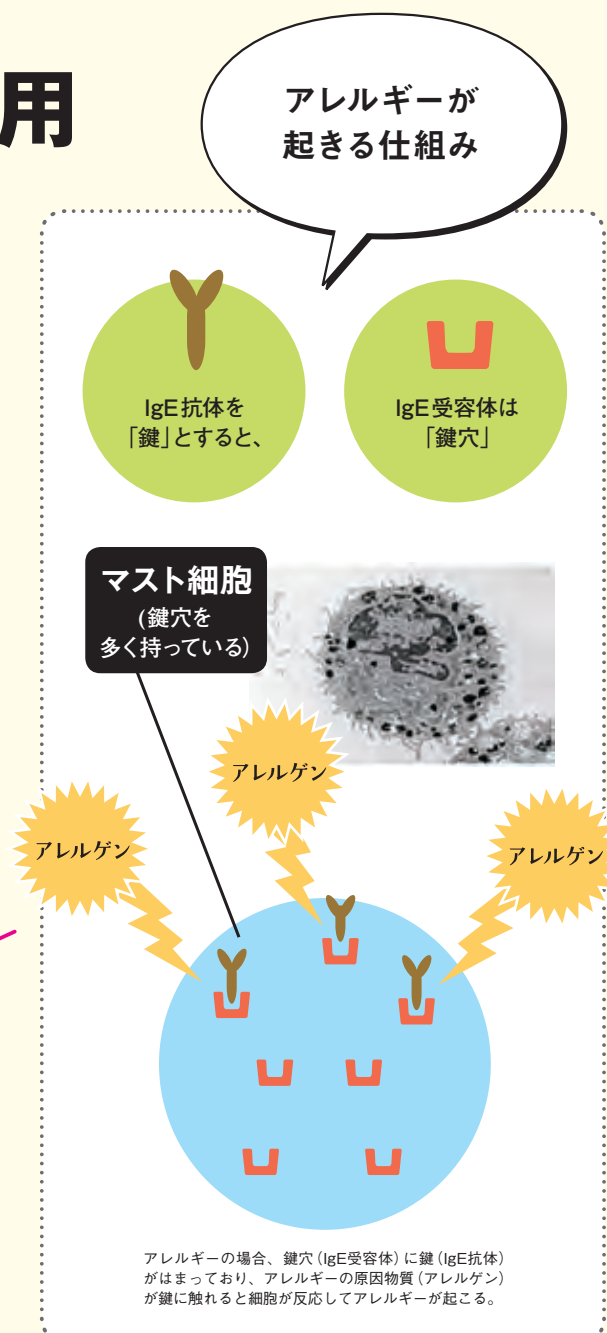
ここでは、身近なアレルギー反応である花粉症を例に、免疫の働きを見てみましょう。

花粉症は、アレルギーの原因物質である花粉が鼻や目などの粘膜に付着することで起こります。花粉が体内に入ってくると、免疫が花粉を異物として認識し、リンパ球がIgEという抗体を作り出し、肥満細胞（マスト細胞）に結合して蓄積されます。IgE抗体が蓄

積された状態で再び花粉が侵入すると、花粉がIgE抗体と反応し、肥満細胞からアレルギーを起こす化学物質が放出されて、目のかゆみや鼻水といった症状を起こすのです。花粉症は、体内に蓄積されたIgE抗体が許容量を超えたときに、体内で反応が起こって発症します。そのため、「できる限り花粉を取り込まない」ことが最善の予防策です。

私たちの研究グループでは、ヒトのマスト細胞がIgE受容体を発現する遺伝子の仕組みを解明し、その機能を抑制することによりアレルギー反応を抑えられることを発見しました。今後、さらに免疫に関する研究が進展すれば、臓器移植の際に起こる拒絶反応の軽減や、がんの予防・治療に役立つワクチンの開発にもつながると期待されています。

にしやま・ちはる 1988年、東京大学農学部農芸化学科卒業。90年、東京大学大学院農学系研究科農芸化学専攻修士課程修了。同年アサヒビール株式会社入社。97年、東京大学にて論文により博士（農学）号取得。その後、順天堂大学大学院医学研究科助手、講師、准教授を経て2013年から現職。



HOW TO WALKING

いつでもどこでもできるウォーキングのコツ



COLUMN

「健康度チェック」を受けてみませんか？

野田キャンパス森戸記念体育館内の体育研究室では、体成分分析装置「InBody」や血液流動性（血液サラサラ度）測定装置、骨密度測定装置などを使用した健康度チェックを行っています。定期的に健康度をチェックして、快適な学生生活を送りましょう。ご希望の方は体育研究室をお訪ねください。



平成28年度の入学式が、4月9日(土)に日本武道館(東京都千代田区)で挙行されました。学部生、大学院生合わせて約5,300人の新入生を迎えた会場は晴れやかな笑顔で満たされました。



新入生の皆さんへ

「一日、一日を大切にしてお過ごしことが人生を豊かにする」

本日ここに、多数のご来賓の皆様ならびに関係各位のご臨席のもと、平成28年度東京理科大学入学式を挙行するにあたり、学長として皆様にお祝いのご挨拶を申し上げます。

新入生の皆さん、大学院、専攻科に進学された皆さん、ご入学、ご進学まことにおめでとうございます。また、学生の皆さんを今日まで支えてこられたご家族の方々にも心からお慶びを申し上げます。

わが東京理科大学は、今をさかのぼること135年前、明治14(1881)年に設立された「東京物理学講習所」という小さな専門学校をその起源にしております。創立に携わったのは、当時、東京大学理学部物理学科を卒業したばかりの20代半ばの21人の若い理学士たちでした。この方々を中心に、「理学の普及を以て国運発展の基礎とする」との建学の精神のもと、設立から2年後の明治16(1883)年に「東京物理学校」への改称を経て、多くの困難を克服し、多大な努力を払い学校を維持・運営しました。

わが国が近代化を成し遂げた明治から大正にかけて、当時のエリート養成学校であった、全国の師範学校と中等学校の数学、物理学、化学の教員の内、実に半数以上を東京物理学校の卒業生が占めていました。このことは、まさに、建学の精神「理学の普及」を体現

したものといえます。夏目漱石の小説『坊っちゃん』の主人公の数学の先生も東京物理学校出身となっています。

また、東京物理学校は、真に実力を身に付けた者しか卒業させなかったことから、当時から「実力主義」の学校として定評があり、東京理科大学となった今日でもその伝統を脈々と受け継いでいます。

第二次世界大戦後に行われた学制改革に伴って、「東京物理学校」は「東京理科大学」となりました。理学部に加えて、薬学部、工学部、理工学部、基礎工学部、経営学部が新設され、また、大学院研究科も順次整備されました。今日では学部は8学部34学科、大学院は11研究科31専攻を有し、わが国屈指の理工系総合大学として発展し、東京理科大学となってから、これまで、19万人以上の有為な人材を社会に輩出してきました。

卒業生は、東京物理学校以来の伝統を受け継ぎ、全国の高等学校などで優れた理数教員として教鞭をとっているほか、科学者、研究者および技術者として日本はもとより、世界各国で活躍されています。

本日、皆さんは、このような輝かしい本学の歴史を受け継ぐ主役となりました。ぜひとも悔いのない有意義な大学生活を過ごしてください。

この4月、本学の大きな動きとしましては、経営学部を埼玉県久喜市から神楽坂キャンパスの富士見校舎に移転するとともに、ビジネスエコノミクス学科を新設しました。また、葛飾キャンパスの工学部には情報工学科を新設しました。さらに姉妹大学の山口東京理科大学が地元山陽小野田市の公立大学として独立しました。もちろんこれからも教育や研究で連携を図っていきます。

さて、私たちは昨年10月、大きな喜びに包まれました。皆様ご存知のとおり、本学大学院理学研究科を修了され、理学博士号も本学において取得された大村智先生がノーベル生理学・医学賞を受賞されました。これは、私立大学の修了生としては、日本で初の快挙です。大村先生はアフリカなどの熱帯地方に蔓延している河川盲目症(オンコセルカ症)の特効薬、イベルメクチンを発見・開発され、その業績が高く評価された結果のご受賞です。大村先生の栄誉を讃え、私どもは来たる4月25日に、特別栄誉博士号をお贈りすることにしてあります。また、大村先生からは本学に多額のご寄付をいただき、このご寄付を原資として「東京理科大学大村賞」を創設し、博士後期課程修了生の中から極めて優れた研究業績を挙げ、本学学生の模範となる者を表彰することとし、3月18日に挙行了した平成27年度学位記・修了証書授与式において、第1回の東京理科



大学大村賞を授与いたしました。

また、東京大学の梶田隆章先生も、素粒子ニュートリノが質量を持つことを発見し、ノーベル物理学賞を受賞されました。梶田先生は本学の理工学部物理学科で10年以上にわたって授業をご担当いただいており、今後も引き続き講義を担当していただくこととなっております。

科学における発見はわれわれの知的好奇心の高揚に寄与し、また新たな技術開発は日々の生活の向上や目の前に山積するさまざまな課題解決への道筋を照らしだします。その活動の中心にいる科学者や技術者は、実験や分析、シミュレーションを重ね、仮説を組み立てては壊し、適切なモデルを構築しようと、日々研鑽を繰り返しながら、新たな課題に取り組んでいるわけです。私たち東京理科大学の研究室では先生方を中心に学生の皆さんが卒業研究や大学院での研究を行っています。その研究や技術開発の支えとなるのが、「基礎学力」であることは間違いありません。科学の世界に限らず、他の学問やスポーツの世界でも同様です。「基礎なくして応用なし」と言えます。そこで、本学では学生の皆さんの基礎学力充実に資するよう昨年から「理工系の基礎」というオリジナル教科書の発行を始めました。学生の皆さんが特に大学入学後1、2年の間に、身に付けて

おくべき基礎的な事項をまとめたシリーズ本です。昨年5月に「機械工学」を刊行して以来、「基礎化学」、「生命科学入門」、「教養化学」を刊行し、今年度も「建築学」をはじめ5冊を刊行する予定です。これらの教科書は順次、学部の授業で使用しています。

本学は、国際化を強力に推進して参ります。「日本の理科大から、世界の理科大へ。」を標榜し、国際競争力を持つ大学となるための施策を続けていきます。世界から認められる教育力・研究力を持った理工系総合大学を目指し、学生の英語力向上に取り組みます。そして外国語によるコミュニケーション能力の向上とともに、国際的視野を持った人材を育成するため、学生の海外経験の機会を拡大します。学生の皆さんも自ら積極的に英語を勉強し、更に国際的な視点を身に付けるよう努力をしてください。

また、課外活動や正課外の活動を正課と同様に「教育」と位置付け、それらの諸活動を通じた全人教育体制を構築していきます。特に学生の自発的な正課外活動を奨励し、部活動・サークル活動も一層活発になるよう支援し、これらの活動を通じて、学生が自ら、豊かな教養、高いコミュニケーション能力、課題発見・解決能力等を修得し、社会に貢献できる有為な人材に成長するよう取り組んで参ります。

学長 藤嶋 昭



私たち東京理科大学のシンボルマークにも関係する、相対性理論で有名なアルベルト・アインシュタインが、すばらしい言葉を残しておられます。「自らを考え行動できる人間をつくること、それが教育の目的といえよう」と言っています。また、「過去から学び、今日のために生き、未来に対して希望を持つ。大切なことは、何も疑問を持たない状態に陥らないことです」とも言っています。

新入生の皆さんがこれから本学で過ごす年月は、長いようでも、後から振り返ると短いものです。

東京理科大学初代学長の本多光太郎先生は「今が大切」ということを繰り返し話されました。一日、一日を大切にしてお過ごしことが、皆さんの人生を豊かにするものと信じます。

終わりに、改めて、本学に入学、進学した皆さんをお祝いするとともに、最も輝かしい青春のこの時期を思う存分満喫し、悔いのない学生生活を送っていただくことを願い、式辞といたします。

平成28年4月9日 東京理科大学 学長 藤嶋 昭

平成28年度 予算

平成28年度は、本年度のみ発生する特殊事項を除いた事業活動収支がプラスになることを目標に掲げ、次の重点項目を盛り込み、予算編成を行いました。

1. 教育研究の充実

- (1) 博士後期課程の学生全員を対象とした経済支援
- (2) 重点課題推進経費
- (3) 東日本大震災に伴う経済支援

2. 施設等環境整備の充実

- (1) 野田地区の3号館改修工事
- (2) 経営学部神楽坂地区移転に伴う東京富士見ビルの賃借料

3. 収益事業の強化

- (1) 東京理科大学インベストメント・マネジメント㈱への増資費用
- (2) 東京理科大学ベンチャーファンドへの出資金

4. その他

- (1) 久喜キャンパス売却に伴う施設売却収入
- (2) 山口東京理科大学の公立法法人化に伴い、山口県山陽小野田市への寄付金
- (3) 経営学部の神楽坂地区移転に伴い、埼玉県久喜市への寄付金

なお、本年度事業活動収支予算では、基本金組入前当年度収支差額が109億7,854万円のマイナスとなりますが、本年度のみ発生する特殊事項を除くと3,113万円のプラスとなります。

資金収支予算書における前年度繰越支払資金および事業活動収支予算書における前年度繰越収支差額は、平成27年度決算確定前の予算額に基づいています。(詳細は、7月頃本学HPに掲載予定。)

平成27年度
補正予算について

平成27年度予算について、次の主な項目を盛り込んだ補正予算を編成しました。

- ① 入学希望者数の増加に伴い、入学金収入を増額すること。
 - ② 基礎工学部および山口東京理科大学工学部入学定員超過に伴い、国庫補助金収入を減額すること。
 - ③ 野田キャンパスの一部土地売却に伴い、施設売却収入を新規で計上すること。
 - ④ 山口東京理科大学公立法法人化に伴う支出を計上すること。
 - ⑤ 事務本部移転に係る経費、工学部情報工学科移転に係る経費を新規で計上すること。
 - ⑥ 野田キャンパス借地購入に伴い、土地支出を新規で計上すること。
 - ⑦ 理科大サイエンス道場改修に係る経費を増額すること。
 - ⑧ 人事院勧告による人件費の見直しにより、人件費支出を増額すること。
 - ⑨ テキサス大学派遣プログラムに係る経費を新規で計上すること。
 - ⑩ 東京富士見ビル改修工事費と葛飾修繕費を減額すること。
 - ⑪ 特定資産の名称変更および統合に伴い、各種引当特定資産を見直すこと。
 - ⑫ 東京理科大学ベンチャーファンドへの出資金を新規で計上すること。
- なお、平成27年度補正予算書は、本学HPをご覧ください。

●資金収支予算書 平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

収入の部	(単位：千円)	支出の部	(単位：千円)
科目	28年度予算額	科目	28年度予算額
学生生徒等納付金収入	26,005,522	人件費支出	16,331,425
授業料収入	17,463,990	教員人件費支出	9,742,046
入学金収入	2,683,800	職員人件費支出	5,821,917
実験実習料収入	560,302	役員報酬支出	134,722
施設設備資金収入	5,297,430	退職金支出	632,740
手数料収入	1,744,003	教育研究経費支出	10,582,963
入学検定料収入	1,702,203	消耗品費支出	1,828,164
試験料収入	6,000	光熱水費支出	1,507,617
証明手数料収入	18,500	旅費交通費支出	661,134
大学入試センター試験実施手数料収入	17,300	奨学費支出	405,144
寄付金収入	295,187	福利厚生費支出	99,116
特別寄付金収入	295,187	通信運搬費支出	165,547
補助金収入	4,036,966	印刷費支出	250,326
国庫補助金収入	3,692,769	広告費支出	1,660
地方公共団体補助金収入	335,597	会議費支出	3,442
学術研究振興資金収入	500	賃借料支出	741,008
その他の補助金収入	8,100	修繕費支出	1,067,563
資産売却収入	23,200,000	諸会費支出	112,617
施設売却収入	3,000,000	公租公課支出	590
有価証券売却収入	20,200,000	報酬・委託・手数料支出	2,456,774
付随事業・収益事業収入	2,090,797	保守料支出	452,005
受託事業収入	1,921,918	資料費支出	750,283
知的財産権実施料等収入	34,930	雑費支出	79,973
公開講座受講料収入	125,685	管理経費支出	3,697,513
免許状更新講習料収入	8,264	消耗品費支出	67,557
受取利息・配当金収入	306,405	光熱水費支出	198,350
第3号基本金引当特定資産運用収入	10,000	旅費交通費支出	88,230
その他の受取利息・配当金収入	296,405	福利厚生費支出	48,774
雑収入	925,906	通信運搬費支出	39,538
施設設備利用料収入	143,832	印刷費支出	103,914
私立大学退職金財団交付金収入	429,074	保険料支出	20,966
その他の雑収入	353,000	渉外・会議費支出	176,182
前受金収入	6,257,311	賃借料支出	60,367
授業料前受金収入	2,686,766	修繕費支出	12,486
入学金前受金収入	2,596,550	公租公課支出	98,802
施設設備資金前受金収入	838,990	報酬・委託・手数料支出	1,335,047
その他の前受金収入	135,005	保守料支出	299,121
その他の収入	2,697,223	資料費支出	217,824
退職給与引当特定資産取崩収入	685,367	入学検定料免除額支出	7,200
特定目的引当資産取崩収入	930,000	寄付金支出	725,000
前期末未収入金収入	830,064	雑費支出	41,652
貸付金回収収入	251,792	借入金等利息支出	327,007
資金収入調整勘定	△6,681,635	借入金利息支出	327,007
期末未収入金	△589,511	借入金等返済支出	890,880
前期末前受金	△6,092,124	借入金返済支出	890,880
前年度繰越支払資金	33,447,346	施設関係支出	1,561,883
収入の部合計	94,325,031	建物支出	1,102,308
		構築物支出	10,000
		建設仮勘定支出	449,575
		設備関係支出	1,247,855
		教育研究用機器備品支出	958,623
		管理利用機器備品支出	188,878
		図書支出	100,354
		資産運用支出	26,320,367
		有価証券購入支出	20,800,000
		退職給与引当特定資産繰入支出	685,367
		特定目的引当資産繰入支出	1,835,000
		将来事業引当特定資産繰入支出	3,000,000
		その他の支出	2,549,023
		貸付金支払支出	213,480
		前期末未払金支払支出	2,087,543
		前払費用支出	248,000
		予備費	300,000
		資金支出調整勘定	△2,419,766
		期末未払金	△2,174,766
		前期末前払費用	△245,000
		翌年度繰越支払資金	32,935,881
		支出の部合計	94,325,031

●収益事業会計予算書 平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

科目	(単位：千円)			
I営業収益		II営業費用		
建物賃貸料収入	77,710	委託費	381	
礼金収入	0	修繕費	129	
営業収益合計	77,710	保守費	33	
		損害保険料	150	
		公租公課	16,798	
		賃借料	2,919	
		減価償却費	40,050	
		監査費用	0	
		消耗品費	2	
		その他の費用	0	
		営業費用合計	60,462	
		営業利益	17,248	

●事業活動収支予算書 平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

教育活動収支(事業活動収入の部)	(単位：千円)	教育活動収支(事業活動支出の部)	(単位：千円)
科目	28年度予算額	科目	28年度予算額
学生生徒等納付金	26,005,522	人件費	16,020,650
授業料	17,463,990	教員人件費	9,742,046
入学金	2,683,800	職員人件費	5,821,917
実験実習料	560,302	役員報酬	134,722
施設設備資金	5,297,430	退職金	311,102
手数料	1,744,003	退職給与引当金繰入額	10,863
入学検定料	1,702,203	教育研究経費	15,662,837
試験料	6,000	消耗品費	1,828,164
証明手数料	18,500	光熱水費	1,507,617
大学入試センター試験実施手数料	17,300	旅費交通費	661,134
寄付金	272,187	奨学費	405,144
特別寄付金	295,187	福利厚生費	99,116
現物寄付	432,000	通信運搬費	165,547
経常費等補助金	3,950,952	印刷費	250,326
国庫補助金	3,606,755	広告費	1,660
地方公共団体補助金	335,597	会議費	3,442
学術研究振興資金	500	賃借料	741,008
その他の補助金	8,100	修繕費	1,067,563
付随事業収入	2,090,797	諸会費	112,617
受託事業収入	1,921,918	公租公課	590
知的財産権実施料等収入	34,930	報酬・委託・手数料	2,456,774
公開講座受講料収入	125,685	保守料	452,005
免許状更新講習料収入	8,264	資料費	750,283
雑収入	925,906	雑費	79,973
消耗品費支出	67,557	減価償却額	5,079,874
光熱水費支出	198,350	管理経費	4,399,560
旅費交通費支出	88,230	消耗品費	67,557
福利厚生費支出	48,774	光熱水費	198,350
通信運搬費支出	39,538	旅費交通費	88,230
印刷費支出	103,914	福利厚生費	48,774
保険料支出	20,966	通信運搬費	39,538
渉外・会議費支出	176,182	印刷費	103,914
賃借料支出	60,367	保険料	20,966
修繕費支出	12,486	広告費	138,636
公租公課支出	98,802	渉外・会議費	17,867
報酬・委託・手数料支出	1,335,047	賃借料	176,182
保守料支出	299,121	修繕費	60,367
資料費支出	217,824	諸会費	12,486
入学検定料免除額支出	7,200	公租公課	98,802
寄付金支出	725,000	報酬・委託・手数料	1,335,047
雑費支出	41,652	保守料	299,121
減価償却額	702,047	資料費	217,824
教育活動支出計	36,083,047	入学検定料免除額	7,200
教育活動収支差額	△638,680	寄付金	725,000
		雑費	41,652
		減価償却額	702,047

教育活動外収支(事業活動収入の部)	(単位：千円)	教育活動外収支(事業活動支出の部)	(単位：千円)
科目	28年度予算額	科目	28年度予算額
受取利息・配当金	306,405	借入金等利息	327,007
教育研究用機器備品支出	958,623	借入金利息	327,007
管理利用機器備品支出	188,878	教育活動外支出計	327,007
図書支出	100,354	教育活動外収支差額	△20,602
資産運用支出	26,320,367	経常収支差額	△659,282
有価証券購入支出	20,800,000		
退職給与引当特定資産繰入支出	685,367		
特定目的引当資産繰入支出	1,835,000		
将来事業引当特定資産繰入支出	3,000,000		
その他の支出	2,549,023		
貸付金支払支出	213,480		
前期末未払金支払支出	2,087,543		
前払費用支出	248,000		
予備費	300,000		
資金支出調整勘定	△2,419,766		
期末未払金	△2,174,766		
前期末前払費用	△245,000		
翌年度繰越支払資金	32,935,881		
支出の部合計	94,325,031		

特別収支(事業活動収入の部)	(単位：千円)	特別収支(事業活動支出の部)	(単位：千円)
科目	28年度予算額	科目	28年度予算額
資産売却差額	200,000	資産処分差額	10,305,273
建物売却差額	200,000	不動産処分差額	10,184,673
その他の特別収入	86,014	動産処分差額	120,600
施設設備補助金	86,014	特別支出計	10,305,273
特別収入計	286,014	特別収支差額	△10,019,259
		予備費	300,000
		基本金組入前当年度収支差額	△10,978,541
		基本金組入額合計	△2,526,414
		当年度収支差額	△13,504,955
		前年度繰越収支差額	△19,733,907
		基本金取崩額	19,694,842
		翌年度繰越収支差額	△13,544,020
		事業活動収入計	36,036,786
		事業活動支出計	47,015,327

●収益事業会計予算書 平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

科目	(単位：千円)			
I営業収益		II営業費用		
建物賃貸料収入	77,710	委託費	381	
礼金収入	0	修繕費	129	
営業収益合計	77,710	保守費	33	
		損害保険料	150	
		公租公課	16,798	
		賃借料	2,919	
		減価償却費	40,050	
		監査費用	0	
		消耗品費	2	
		その他の費用	0	
		営業費用合計	60,462	
		営業利益	17,248	

平成28年度 事業計画が決定

東京理科大学は、「理学の普及を以て国運発展の基

礎とする」との建学の精神のもと、若き21人の理学士らにより1881(明治14)年に創立され、今年で135周年の節目を迎えます。創立以来、真に実力を付けた学生のみを卒業させるという「実力主義」の伝統を貫き、科学技術の発展を支える多くの人材を社会に送り出して

きました。

現在、私立大学は、建学の精神に基づいた特色のある教育・研究活動が期待される一方、急速に進む少子高齢化、大学進学者層の変化、大学行政の規制緩和、補助金の減少傾向、グローバル化の進展と知識基盤社会への移行等に伴う喫緊の多くの課題を抱えています。

このような環境下において大学間競争も熾烈なもの

になる中、本学は建学の精神およびこれまで培った実力主義の伝統を堅持しつつ、「日本の理科大から、世界の理科大へ。～世界で最も魅力のある大学～」を将来像に据え、教育・研究と経営、社会貢献の各方面でさらなる発展を図ります。

1. 学校法人東京理科大学

【ガバナンス】

●評議員、理事の選出方法の改定 ●「長期目標」の設定、「3カ年中期計画」立案

【事務総局】

●管理職ポストの削減 ●大学企画部、葛飾事務部および野田事務部の設置
●事務総局全体の生産性を高めるための方策の検討 ●研修育成制度の体系化
●目標管理制度のさらなる活用 ●係長以上の役職の女性比率を22%にすることを目標

【教員組織・制度および人事】

●教育スキル向上のための教員研修の実施 ●教員の委員会業務の削減 ●教員評価システムの見直し

【財務】

●収支均衡はプラス予算 ●現金の積み増しができる予算

【収益事業】

●東京理科大学インベスト・マネジメント㈱において収益獲得

【管財】

●神楽坂キャンパス工学部移転後の跡地利用の検討、および整備工事の着手
●野田キャンパス3号館の一部改修工事、および同キャンパス全体の再構築の検討
●葛飾キャンパスへの学部移転に伴う学生数増加に対応する環境整備

【国際化】

●各種プログラムの充実による学部学生の海外留学の促進
●大学院学生の協定校派遣推奨による「世界で活躍できる人材」の育成
●事務組織に国際部の設置 ●「起業家育成プログラムREAP」を基軸とした起業家育成の仕組みづくり

【広報】

●大学ブランド力向上のための各種コンテンツのリニューアルおよび制作 ●メディアリレーションの拡大
●学内外との連携イベントを通した各ステークホルダーとの深い相互信頼関係の形成

【ICT】

●学修に関するシステムのポータル化、モバイル対応など利便性の向上
●学籍・教務管理システムの改善、履修状況等把握のための学生カルテの実現
●伝票処理、旅費・立替精算処理などを統一に行うシステムの構築

【学部学科等の再編・移転】

●工学部第一部の名称を「工学部」に変更 ●工学部第一部経営工学科を「工学部情報工学科」に改組
●工学部第一部経営工学科、工学部第二部全学科、工学研究科経営工学専攻を神楽坂キャンパスから葛飾キャンパスへ移転
●工学部第二部全学科および工学部第一部経営工学科の学生募集停止
●経営学部経営学科の入学定員を240人から320人に増員 ●経営学部ビジネスエコノミクス学科を増設
●経営学部を久喜キャンパスから神楽坂キャンパス富士見校舎へ移転

【山口東京理科大学の公立化】

●公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学の開設

東京理科大学における
学部・大学院の再編について

本学は、平成29年4月1日から、表のとおり学部・専攻の名称変更および学部・大学院の再編を予定しています。

●大学院の再編

研究科

People

新任教員
26氏紹介

歴史を塗り替える新しい力に

①最終学歴 ②前歴 ③専門分野 ④学位

【理学部第一部】
応用化学科／講師
湯浅順平
ゆあさ・じゅんぺい

①大阪大学大学院工学研究科博士後期課程修了 ②奈良先端科学技術大学院大学物質創成科学研究科助教 ③光学学、超分子化学 ④博士(工学)

【理学部第二部】
物理学科／准教授
堺和光
さかい・かずみつ

①東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻博士課程修了 ②東京大学大学院総合文化研究科助教 ③数理物理学 ④博士(学術)

【薬学部】
薬学科／教授
羽田紀康
はねだ・のりやす

①名古屋市立大学大学院薬学研究科博士後期課程修了 ②慶應義塾大学薬学部准教授 ③糖化学、天然物化学、漢方医薬学 ④博士(薬学)

【薬学部】
生命創薬科学科／准教授
横山英志
よこやま・ひでし

①東京大学大学院薬学系研究科博士後期課程修了 ②静岡県立大学薬学部講師 ③構造生物学、生物物理化学 ④博士(薬学)

【工学部】
教養／講師
石田敦英
いしだ・あつひで

①神戸大学大学院理学研究科数専攻博士課程後期課程修了 ②追手門学院大学経済学部経済学科講師 ③偏微分方程式 ④博士(理学)

【工学部】
電気工学科／准教授
阪田 治
さかた・おさむ

①筑波大学大学院工学研究科5年一貫博士課程修了 ②山梨大学大学院総合研究部機械工学系准教授 ③医療工学、農業工学 ④博士(工学)

【工学部】
機械工学科／講師
橋本卓彰
はしもと・たくや

①東京理科大学工学研究科機械工学専攻博士後期課程修了 ②電気通信大学大学院情報理工学研究科知能機械工学専攻助教 ③知能機械、機械システム ④博士(工学)

【理工学部】
数学科／講師
馬場蔵人
ばば・くらんと

①東京理科大学大学院理学研究科博士後期課程修了 ②福島工業高等専門学校准教授 ③微分幾何学 ④博士(理学)

【理工学部】
情報科学科／准教授
桂田浩一
かつただ・こういち

①大阪大学基礎工学研究科情報数理工学専攻博士後期課程修了 ②豊橋技術科学大学国際交流センター准教授 ③マルチモーダル情報処理、人工知能 ④博士(工学)

【理工学部】
応用生物科学科／准教授
倉持幸司
くらもち・こうじ

①東京大学大学院農学生命科学研究科博士後期課程修了 ②京都府立大学大学院生命環境科学研究科准教授 ③生物有機化学 ④博士(農学)

【理工学部】
応用生物科学科／講師
古屋俊樹
ふるや・としき

①早稲田大学大学院理工学研究科応用化学専攻博士後期課程修了 ②早稲田大学先進理工学部応用化学科助教 ③応用生物化学、生物化学工学 ④博士(工学)

【工学部】
建築学科／准教授
垣野義典
かきの・よしのり

①東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修了 ②豊橋技術科学大学建築・都市システム学系准教授 ③建築計画、環境行動 ④博士(工学)

【理工学部】
経営工学科／講師
小林和博
こばやし・かずひろ

①東京大学大学院工学系研究科計数工学専攻修士課程修了 ②海上技術安全研究所主任研究員 ③数理最適化、ロジスティクス工学 ④博士(理学)

【理工学部】
機械工学科／講師
朝倉 巧
あさくら・たくみ

①東京大学大学院工学系研究科建築学専攻博士後期課程修了 ②清水建設技術研究所研究員 ③振動工学、音響工学 ④博士(工学)

【理工学部】
土木工学科／講師
柳秀樹
やぎぬま・ひでき

①東京工業大学大学院理工学研究科博士後期課程修了 ②東京大学大学院工学系研究科特任助教 ③交通行動分析 ④博士(工学)

【基礎工学部】
教養／講師
古宮裕子
こみや・ゆうこ

①東京理科大学基礎工学研究科生物工学専攻博士後期課程修了 ②Rutgers Robert Wood Johnson Medical School, Research Teaching Specialist ③発生学、分子生物学 ④博士(工学)

【基礎工学部】
電子応用工学科／准教授
生野 孝
いくの・たかし

①大阪大学大学院工学研究科博士課程修了 ②森豊田中央研究所・主任研究員 ③ナノ電子材料 ④博士(工学)

【経営学部】
経営学科／教授
奥村哲史
おくむら・てつし

①早稲田大学大学院商学研究科博士課程単位取得退学 ②名古屋市立大学大学院経済学研究科教授 ③経営学、組織行動論 ④修士(商学)

【経営学部】
経営学科／准教授
大西浩志
おおにし・ひろし

①ミシガン大学ロス・スクール・オブ・ビジネス博士課程修了 ②(株)電通チーフ・アナリスト ③マーケティング・サイエンス、インターネット・マーケティング ④博士(マーケティング)

【経営学部】
経営学科／准教授
牧野恵美
まきの・えみ

①クレアumont大学院大学・ドラッカースクール ②九州大学分子システムデバイス国際リーダー教育センター准教授 ③経営学、アントレプレナーシップ ④博士(経営学)

【経営学部】
経営学科／講師
島田佳憲
しまだ・よしのり

①神戸大学大学院経営学研究科博士課程修了 ②岩手大学人文社会科学部准教授 ③財務会計 ④博士(経営学)

【経営学部】
ビジネスエコノミクス学科／教授
庄司 功
しょうじ・いさお

①総合研究大学院大学数物科学研究科博士課程修了 ②龍谷大学経済学部教授 ③統計学、計量ファイナンス ④博士(学術)

【経営学部】
ビジネスエコノミクス学科／講師
藤嶋翔太
ふじしま・しょうた

①ワシントン大学セントルイス経済学部博士課程修了 ②東京大学空間情報科学研究センター講師 ③都市・地域経済学 ④博士(経済学)

【経営学部】
ビジネスエコノミクス学科／講師
星野匡郎
ほしの・ただお

①東京工業大学社会理工学研究科博士課程修了 ②早稲田大学グローバルエデュケーションセンター助教 ③計量経済学、環境評価 ④博士(学術)

名誉教授称号

東京理科大学は、平成27年11月12日付で20人の先生方に名誉教授称号を授与し、平成28年4月14日付で塚本桓世先生に贈呈しました。

長島秀行(ながしま・ひでゆき)先生

昭和44年に理学部第一部教養学科に助手として着任し、平成4年に教授となり、学科幹事等を歴任しました。研究では温泉微生物についての研究が高く評価され、日本温泉科学会での功労賞や、第21回環境大臣賞を受賞しました。公益財団法人・中央温泉研究所の常務理事なども務め、多方面で貢献しました。



齊藤隆夫(さいとう・たかお)先生

昭和49年に理学部第一部化学科に助手として着任し、平成11年に教授となり、学科主任、研究科幹事等を歴任しました。研究では、ヘテログレンやヘテロシンドラレンを鍵中間体とした複素環合成反応で、クンデン反応やドミノ反応と呼ばれる効率的な合成法の開発に着目し、多大な成果を挙げました。



山村剛士(やまむら・たけし)先生

昭和60年に理学部第一部化学科に講師として着任し、平成9年に教授となり、学科主任、研究科幹事等を歴任しました。研究では、特異的DNA塩基対認識能と重金属結合能を持つ融合タンパク質を合成し、ナノ粒子をDNA格子の望む場所に2~30nm間隔で正確に幾何配列させる新手法の開発など多大な成果を挙げました。



森田昌宏(もりた・まさひろ)先生

昭和50年に理学部第一部応用数学科に助手として着任し、平成13年に教授となり学科主任、研究科幹事、総合研究所火災科学研究所部門長等を歴任しました。研究分野の火災現象の数値シミュレーションでは大規模施設の避難安全シミュレーション等、防災への応用も手掛け日本火災学会賞受賞、東京都功労者の都知事表彰を受けました。



陳 玳珩(ちん・だいこう)先生

平成8年に工学部第一部機械工学科に教授として着任し、学科主任、研究科幹事等を歴任しました。研究では、材料の特性や強度評価の分野で286篇もの査読付論文を発表、「金属疲労強度学」,[Crush mechanics of thin-walled tubes]などの専門書を著書し、2度の日本機械学会論文賞、日本設計工学会論文賞を受賞しました。



元屋清一郎(もとや・きよいちろう)先生

平成6年に理工学部物理学科教授として着任し、学科主任、研究科幹事等を歴任しました。研究では、物質の磁気的性質の分野で、規則構造を持つ磁性体における磁気相転移の時間依存性の存在を発見し、その発現機構の研究を進めるなど、この分野に多大な貢献をしました。



井上康則(いのうえ・やすのり)先生

平成3年に理工学部応用生物科学科に助教として着任し、平成8年に教授となり、学科主任等を歴任しました。研究では植物学の分野で、シアノバクテリアの光合成系複合体を解析し、これを用いた生物と人工物質のハイブリッドによる光利用技術を開発しました。日本植物学会の評議員なども務め、多方面で貢献しました。



渡邊俊一(わたなべ・しゅんいち)先生

平成2年に理工学部建築学科に教授として着任し、学科幹事、学科主任、研究科幹事等を歴任しました。研究では、都市計画理論の分野で、国際的歴史的な観点から比較都市計画論の先駆的研究を進めました。また日本都市計画学会、日本建築学会、土木学会等から多くの賞を受賞しました。



伊藤紘二(いとう・こうじ)先生

平成元年に基礎工学部電子応用工学科に教授として着任し、学科主任、研究科幹事等を歴任しました。研究分野は航空工学、情報通信工学、教育工学の3分野にまたがり、各分野の学会や機構で多数の要職を歴任し、貢献しました。



高梨良文(たかなし・よしふみ)先生

平成11年に基礎工学部材料工学科の教授に着任し、学科主任、研究科幹事等を歴任しました。研究では、通信成長帯の半導体レーザーや光検出器など光駆動的なデバイスの研究開発を行いました。電子情報通信学会の幹事なども務め、多方面で貢献しました。



塚本桓世(つかもと・たけよ)先生

昭和42年に理学部第一部に助手として着任し、平成7年に教授となりました。研究面では物質科学の研究に従事し、多くの業績を挙げるとともに、学協会や編集委員等を務め当該分野の発展に大きく貢献をしました。また管理運営面では、本法人理事長、会長を歴任し、本法人の発展に多大なる貢献をしました。



三須 明(みつ・あきら)先生

昭和57年に理学部第一部物理学科に教授として着任し、学科主任、研究科幹事、図書館長等を歴任しました。研究では、4回反射型偏光子を開発し、変調分光により強磁性物質の磁気円二色性スペクトルを初めて測定。これは文部省特定研究(当時)の一部門に採用されました。



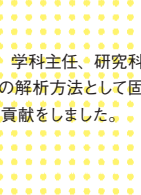
古川猛夫(ふるかわ・たけお)先生

平成4年に理学部第一部化学科に助教として着任し、平成5年に教授となり、学科主任、研究科幹事、神楽坂図書館長等を歴任しました。研究では、高分子特有の緩和現象や、非線形を含む時間・周波数応答を測定するさまざまな高精度システムを開発し、機能性高分子分野で貢献をしました。



西村彰一(にしむら・しょういち)先生

平成5年に理学部第一部数理情報科学科に教授として着任し、学科主任、研究科幹事等を歴任しました。研究では確率統計学の分野でデータの解析方法として固有値による解析等を考えることで、この分野の発展に多大な貢献をしました。



矢島博文(やじま・ひろふみ)先生

昭和56年に理学部第一部応用化学科に助手として着任し、平成14年に教授となり、学科幹事、学科主任、研究科幹事等を歴任しました。研究では、ヨウ素デンブレン反応の発色の仕組みを解明し、ヨウ素錯体の特性を利用して新規環境応答性ナノバイオ材料の開発に成功し、ヨウ素学会賞、理恵博士会学術賞を受賞しました。



岡 正俊(おか・まさとし)先生

昭和46年に理工学部数学科に助手として着任し、平成12年に教授となり、学科主任、研究科幹事等を歴任しました。研究では、主に構造安定性問題に取り組み、多様体上の拡大的なベクトル場の生成する力学的系の中心化群が一次元であることを解明し、力学系研究の進展に貢献しました。



盛永篤郎(もりなが・あつお)先生

平成4年に理工学部物理学科に助教として着任し、平成7年に教授となり、学科幹事、学科主任、研究科幹事等を歴任しました。研究では、原子光学の分野で、国内で初めてナトリウム原子を用いたボース・アインシュタイン凝縮の作成に成功しました。応用物理学論文賞受賞など、功績は国内外で高く評価されています。



小祝 修(こいづい・おさむ)先生

平成9年に理工学部応用生物科学科に助教として着任し、平成13年に教授となり、学科主任、研究科幹事等を歴任しました。研究では分子病理学で、特に先天性遺伝疾患とその遺伝子治療の基礎に関わる研究成果を多く得ました。



藤井志郎(ふじい・しろう)先生

昭和60年に理学部第二部物理学科に助手として着任し、昭和62年に基礎工学部教養に移り、平成12年に教授となり、長万部教養部長、長万部学寮長、長万部図書館長等を歴任しました。研究では細胞生理学の分野で、細胞内に埋め込まれているイオンチャンネルの研究を行い、多くの学術誌等を通じ、高く評価されました。



後藤芳彦(ごとう・よしひこ)先生

昭和63年に基礎工学部材料工学科に助教として着任し、平成3年に教授となり、研究科幹事等を歴任しました。研究では、金属や半導体の結晶表面上の異種金属の吸着などについて、原子論的な構造の立場から電子回折等の方法を用いて解明し、応用物理学会賞、日本結晶成長学会貢献賞を受賞しました。



中村有伸(なかむら・ゆうしん)先生

昭和63年に基礎工学部生物工学科の教授に着任し、学科主任、研究科幹事等を歴任しました。研究では生物化学現象を有機化学の観点から解明・応用する基礎研究のほか、世界で初めて、DNAを加水分解的に切断する人工分子を開発しました。これらは、多くの研究論文や国際会議等を通じ、世界的にも高く評価されています。

定年
退職

長年にわたり本学の教育・研究、事務にご尽力いただいた31氏が平成28年3月31日付で定年を迎えられました。(敬称略)

【理学部第一部】

教養学科	教授	丸田 忠雄
数学科	教授	安部 直人
応用化学科	教授	碓合 憲三

【理学部第二部】

化学科	講師	三田 茂
-----	----	------

【薬学部】

薬学科	教授	浅田 善久
生命創薬科学科	技術員	澤邊 紀子

【工学部第一部】

電気工学科	講師	若林 勇
建築学科	助教	梅津 裕二

【工学部第二部】

電気工学科	教授	谷内 利明
-------	----	-------

【理工学部】

物理学科	教授	浜田 昭昭
情報科学科	教授	太原 育夫

応用生物科学科	教授	国沢 隆
---------	----	------

応用生物科学科	教授	菅原 二三男
---------	----	--------

応用生物科学科	助教	大石 尊朗
---------	----	-------

建築学科	教授	川向 正人
------	----	-------

【基礎工学部】

電子応用工学科	教授	蟹江 壽
---------	----	------

【経営学部】

経営学科	教授	平木 多賀人
------	----	--------

経営学科	教授	吉岡 正道
------	----	-------

【イノベーション研究科】

MIP	教授	澤井 敬史
-----	----	-------

【山口東京理科大学】

工・機械	教授	内海 隆行
------	----	-------

工・電気	教授	森田 廣
------	----	------

【諏訪東京理科大学】

共通教育センター	教授	関塚 正嗣
----------	----	-------

経情・経情	教授	五味 嗣夫
-------	----	-------

【事務局】

※は選択定年

諏訪東京理科大学事務部	部長	岸野 信治 ※
-------------	----	---------

総務部総務課	担当課長	坂巻 満
--------	------	------

管財部管財課(野田)	係長	清田 けい子
------------	----	--------

教務部教務課(野田)	係長	栗飯原 光枝
------------	----	--------

山口東京理科大学事務部	係長	中村 一夫 ※
-------------	----	---------

教務部教務課(野田)	主事補	平久 静江 ※
------------	-----	---------

教務部教務課(野田)	主事補	桜井 卓子 ※
------------	-----	---------

管財部管財課(野田)	技能員	池田 誠一
------------	-----	-------

Prize



優れた 研究業績を挙げた 教員を表彰

平成27年度の学校法人東京理科大学優秀研究者特別賞、奨励賞の受賞者が決定し、3月29日(火)に神楽坂キャンパスで表彰式が開催され、藤嶋昭学長から受賞者に表彰状と副賞が贈られました。

「学校法人東京理科大学優秀研究者賞」は、研究活動の活性化を目的として、平成17年度に制度化されたものです。優秀研究者賞には、「特別賞」と「奨励賞」があり、特別賞は、特に優れた研究者に対して授与されます。一方、奨励賞は、40歳未満の優れた若手研究者に対して授与されます。

特別賞

宮岡悦良 教授 理学部第二部数学科

辻川信二 教授 理学部第二部物理学科

奨励賞

佐藤隆夫 准教授 理学部第二部数学科

四反田功 講師 理工学部工業化学科

松崎亮介 講師 理工学部機械工学科

特別賞



宮岡悦良 教授



辻川信二 教授

奨励賞



佐藤隆夫 准教授



四反田功 講師



松崎亮介 講師



学長、副学長と受賞した学生

●平成27年度
学生表彰者一覧

(所属・学年は受賞時)

氏名／所属

大久保遥峰

理学部第一部応用化学科 4年

福谷慶太

理工学部数学科 4年

内田千紘

総合化学研究科総合化学専攻修士課程 2年

平川 健

理工学研究科応用生物科学専攻修士課程 2年

安本佑輝

理工学研究科応用生物科学専攻修士課程 2年

川崎雅浩

理工学研究科機械工学専攻修士課程 2年

星野翔麻

総合化学研究科総合化学専攻博士後期課程 3年

小野田淳人

薬学研究科薬科学専攻博士後期課程 1年

高島健悟

工学研究科電気工学専攻博士後期課程 1年

学業・研究等の成果が 優秀な学生を表彰

3月3日(木)に神楽坂キャンパスで、「平成27年度東京理科大学学生表彰式」が行われました。

この表彰は、学業・研究等の成果が特に優れていると認められた学生を対象としており、今年度は9人が表彰され、藤嶋昭学長から表彰状と副賞が贈呈されました。今回表彰された高島健悟さん(工学研・電気工学・博士後期課程1年(当時))は、「今回の受賞は、先生や研究仲間など周りの支えのおかげだと思っている。この受賞を励みにして、産業界を支える研究者を目指したい」と今後の抱負を語りました。

受賞内容については、本学HPをご覧ください。

学長、
学生支援センター長と
受賞した学生藤嶋昭学長(右)
と学長賞を受賞した
山本さん

課外活動の 優秀成績者を表彰

3月15日(火)に課外活動において優秀な成績や功績のあった団体、個人を表彰する学長表彰式が葛飾キャンパス図書館大ホールで行われました。

この表彰は、学長賞、学生支援センター長賞、特別功労賞、功労賞、特別奨励賞、奨励賞などがあります。学長賞は国際的、全国的な活躍に、学生支援センター長賞は地域的あるいは加盟している連盟での活躍に対して表彰するものです。学長賞を受賞したI部体育局ウエイトトレーニング部の山本佳明さん(理一・応化4年)は謝辞で「表彰者の名に恥じぬよう、決意を新たに文武両道に励みます」と話しました。

●平成27年度学長表彰受賞者・受賞団体(抜粋)

(所属・学年は受賞時)

学長賞【個人】

山本佳明 (I部体育局ウエイトトレーニング部、理学部第一部応用化学科4年)

第2回IPF男子・女子クラシックパワーリフティング選手権大会 男子74kg級ジュニアの部 5位

第18回ジャパンクラシックパワーリフティング選手権大会 男子74kg級ジュニアの部 1位

第61回東京都パワーリフティング選手権大会 男子74kg級一般の部 1位

学生支援センター長賞【団体】

I部体育局 洋弓部(神楽坂・野田)

I部体育局 陸上競技部(神楽坂・野田)

I部体育局 硬式庭球部(葛飾・野田)

学生支援センター長賞【個人】

鈴木花菜 (I部体育局 水泳部、理学部第一部応用化学科4年)

濱崎拓也 (I部体育局 軟式庭球部、理学部第一部応用物理学科4年)

その他の受賞については、本学HPをご覧ください。



経営学部の新校舎 富士見校舎竣工

経営学部の新校舎である富士見校舎が竣工しました。経営学部は今年度から、久喜キャンパス(埼玉県)から神楽坂キャンパス富士見校舎(東京都・千代田区)に移転し、ビジネスエコノミクス学科を新設し、従来からの経営学科と2学科体制になりました。東京都心に移転したことで、就職活動などにおいてアクセスがしやすくなります。

今年度は約1,200人の経営学部の学生が学びます。経営学部ではPBL(課題解決型授業)などを多く取り入れ、能動的な授業を多く展開していきます。これに合わせ、席が半円形に配置されている馬蹄形教室が4教室あり、学生が積極的に授業に取り組める環境が整っています。またターミナル室が2教室、図書館には1万8,000冊以上の蔵書があるほか、食堂は330席程度準備されています。

なお、教養科目をはじめとしたいくつかの授業は理学部と共同で、神楽坂校舎で行われます。

さよなら久喜キャンパス

平成5年の経営学部設置から使用されてきた久喜キャンパスは、平成28年3月をもってその役目を終えました。これまで約4,800人の卒業生を送り出してきた久喜キャンパス。多くの卒業生の思い出の中に残り続けるでしょう。



竣工当時の大教室



平成5年の竣工当時



馬蹄形教室



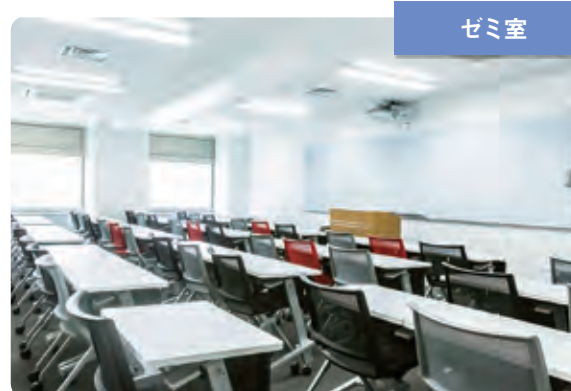
大教室



階段教室



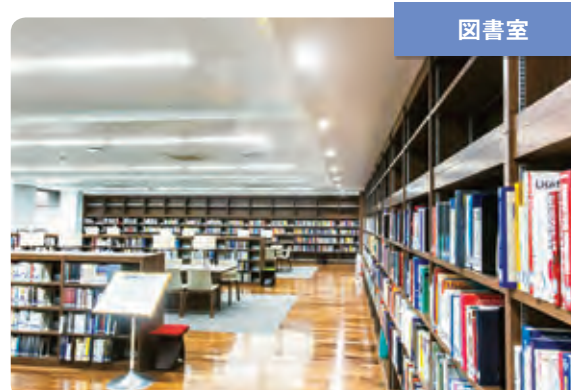
食堂



ゼミ室



ターミナル室



図書室



学生ホール



学位記・修了証書授与式を挙行

3月18日（金）に日本武道館（東京都千代田区）で平成27年度の学位記・修了証書授与式が行われました。本年度は、学部3,489人のほか、修士1,367人、博士（論文博士含む）56人、専攻科17人の計4,929人が卒業・修了しました。藤嶋昭学長は式辞において、「之を知る者は、之を好む者に如かず。之を好む者は、之を楽しむ者に如かず。」という論語の言葉を引用し、「今後取り組まれることをまずはよく勉強し、次にその分野を好きになってください。そして楽しむという境地になってほしいものです」と卒業生、修了生にメッセージを送りました。

卒業証書を受け取った理学部第一部化学科の学生は「研究室の先生、仲間、先輩、サークルの友だちなど多くの方のおかげで卒業することができました。4月からは進学するので、これからますます頑張りたいです」と抱負を語ってくれました。



藤嶋昭学長



長万部キャンパス 退寮式を挙行

かけがえのない思い出を糧に
約450人が新たな歩み

2月23日（火）に長万部キャンパスで「第29回退寮式」が行われ、学生約450人が出席しました。退寮式では、藤代博記基礎工学部長、五十嵐雅之教養部長から激励の言葉があり、木幡正志長万部町長から祝辞と記念品贈呈が行われました。

学生代表の謝辞では、生物工学科1年（当時）の之色祐佳さんが「入寮当初は本当に不安でいっぱいでしたが、豊かな自然、何でも話せる友人、学生のことを考えてくれる教職員や地域の方々のおかげで、かけがえのない時間を過ごすことができました。ここでの経験を生かし、社会に貢献していきたいと思います」と決意を語りました。

学生たちは1年間を過ごした長万部を後にし、4月から葛飾キャンパスでの新たな生活をスタートさせています。



代表学生による謝辞

山口東京理科大学 本法人最後の卒業式

3月17日（木）に、山口東京理科大学では本法人最後の卒業式が行われました。本年度は学部生143人、修士2人に学位記が授与されました。森田廣学長は式辞において「学んだ工学や科学技術に自信をもって生きていってください。そして、新しい知識を学び続けるということを怠らず、生涯、学び続けてく

ださい」と卒業生、修了生にメッセージを送りました。

平成28年度から山口東京理科大学は公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学となりました。



みんなで防ごう！ ハラスメント

ハラスメント防止のために、
「傍観者」にならないで！

ハラスメントを根絶させるためには、ハラスメントを“しない”&“させない”という一人一人の自覚が大切なのは言うまでもありませんが、周囲の皆さんの果たす役割もとても重要です。ハラスメントに気付いたら、まず「自分に何ができるか？」を考えてみてください。

ハラスメントになりそうな場面に遭遇したら、「それ、ハラスメントです！」と勇気を出して注意喚起しましょう。お酒を飲む機会なども要注意です。思慮分別がつかなくなっている人がいる時は、やんわりと話題を変えたり話に割り込んだりすることも有効ですし、時には毅然として注意をすることも必要かもしれません。

何より大切なことは、

一人一人が「傍観者にならないこと」です。
「見て見ぬふりをするのは、ハラスメントに加わるのと同じこと」であることを自覚しましょう。

被害を受けている人の相談に乗ることも非常に大切です。ハラスメントを受けている人は、誰にも言えずに一人で悩んでいることが多いので、まずは身近な皆さんが相談相手になって、解決策と一緒に考えましょう。また“組織をうまく使う”ことも時には必要です。本学の相談窓口などを有効活用して、皆でハラスメント根絶を目指しましょう！

みんなで防ごう！アカ・セク・パワーハラスメント特設ホームページ
(大学概要 / 本学の取り組み / 社会活動 / ハラスメント防止のために)

<http://www.tus.ac.jp/harass/>

葛飾区で 科学の楽しさを伝えるイベント 「オドロキ科学箱」を開催

3月19日（土）に、高砂地区センター（葛飾区高砂）で科学の楽しさを伝えるイベント「オドロキ科学箱」が開催され、約650

人の参加がありました。

このイベントは地域交流を目的として行われたもので、本学学生団体の「みらい研究室」が主体となり、模型飛行機の製作や、電気ペンでのお絵描きなど、さまざまな実験や工作を行いました。参加者からは「小学校ではやったことのない実験ができて楽しかった」などのコメントが寄せられました。



不思議な実験に興味津々の様子

諏訪東京理科大学ニュース

平成28年度 入学式

平成28年度諏訪東京理科大学入学式が4月6日（水）、大アリーナで挙行政され、学部生、大学院生合わせて計267人の新入生を迎えました。



新入生諸君へ 諏訪東京理科大学 学長 河村 洋

新入生の皆さん、ご入学おめでとう。本学は、東京理科大学諏訪短期大学を前身として、平成14年に4年制大学として誕生した比較的新しい大学です。しかし、本学の母体である東京理科大学は135年という長い伝統を持っており、本学は、その建学の精神「理学の普及を以て国運発展の基礎とする」を信州諏訪の地において実現すべく、地元の要請と支援のもとに設立されました。

この地域の特長は、古代では縄文文化からの長い歴史を持ち、近代では御柱祭に代表される地域に根ざした文化を育み、現代では中小企業の集積地としてのつくり産業を発展させている点にあります。そのため本学では、地域に学ぶということを重視して、教室での授業を受けるだけでなく、実際に地域に出て学ぶ講座も用意しています。特に今年は6年に一度の御柱祭に当たります。5月にはいよいよ御柱をそれぞれの神社に立てるお祭りがあります。本学の学生は大学を通して、誰でも参加出来ますから、ぜひ参加して貴重な体験をしてほしいと思います。

これからの時代には、グローバルな視野と力が欠かせません。この地方の中小規模の企業もどんどん海外に進出していて、海外で活躍出来る人材を求めています。そのためには、外国語の力を磨くことが必要です。本学でも、英語力の充実に力を入れており、海外語学研修や地元企業の協力を得た海外インターンシップなどの機会を提供しています。費用面でも支援していますから、是非積極的に参加してください。

最後に、学生と社会人の大きな違いは、学生には自由な時間があるということです。その時間をどう使うかでその人の人生は変わります。どうか、このことを心に留めて、時間を有効に使い、夢に向かって進んで行く大学生活を送ってください。それが皆さんの未来を切り開きます。本学の全ての教員と職員が力を合わせてそれを応援します。

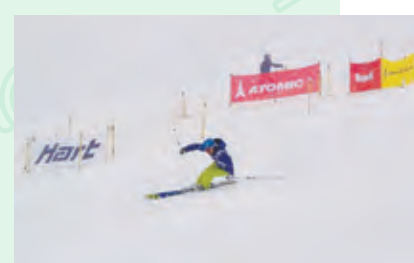
創部2年目のスキー部部員の快挙！

1月26日（火）から3日間開催された全日本スキー技術選手権大会予選会（甲信越地区）で、工学部機械工学科2年（当時）でスキー部部長の半田翼さんが予選を突破し、全日本大会への出場権を獲得しました。スキー技術選手権大会は、タイムを競うレースではなく、どれだけ綺麗に滑ることができるかを競う大会で、参加選手はデモンストレーターやインストラクター、学生、社会人とさまざまです。

また、1月10日（日）に開催された静岡県選考会では、工学部機械工学科1年（当時）の成澤弘明さんが大回

転成年男子Aに出場し、3位に入賞、国体出場を決めました。

創部2年目のスキー部は現在21人、着々と結果を出していることはその他の学生の大きな励みになっています。



大会に出場した半田さん

アクティブラーニング教室を新たに整備

2月、新たにアクティブラーニング教室を整備しました。この教室の特長は、一人掛けの可動機を基本として、従来の教室では不向きであったグループ単位での共同作業の実施や教室を広く使うポスター発表への素早い切替えにも対応して



います。また壁全体に大型のホワイトボードとプロジェクターも設置され、グループ討論なども効果的に行うことができます。これらの整備は、私立大学等教育研究活性化設備整備事業「教育の質的転換」に採択され実施したものです。

写真は3月8日（火）に開催した工学部入学前イベントの様子で、高校生がこの教室でロボット商品開発のワークショップに取り組んでいる様子です。午前は技術講習、午後は企画と試作に取り組み、最後に開発した商品紹介のプレゼンを行いました。



明日の肌を変える化粧品を創り出す研究者

赤塚秀貴さん（ポーラ化成工業株式会社 スキンケア開発室長）

現状の延長線上ではなく、広い視野で未来を見つめる…
理科大で、研究者としての基本姿勢を学びました



学生時代の研究室で



赤塚秀貴（あかつか・ひでたか）

2000年、東京理科大学理工学部工業化学科卒業。08年、東京理科大学大学院理工学研究科博士後期課程修了。2000年、ポーラ化成工業株式会社入社。現在は同社スキンケア開発室長を務める。

自分を変えなくては……。赤塚秀貴さんが理科大を志したのは、こんな焦燥感からだった。「高校時代は硬式野球に夢中で、部活動を引退する時期になってようやく、自分が将来の進路について何もイメージできていないことに気がきました。そんなとき、先輩から『東京理科大学の学生は真面目でよく勉強する』という話を聞いて、そんな学生たちが集う環境に自分も身を投じてみたいと思ったのです」

学部時代には、有機工業材料（コロイドおよび界面化学）を研究テーマとする阿部正彦教授の研究室に所属する。赤塚さんにとっての阿部教授像を聞くと「最強のリーダー」という答えが返ってきた。「進むべき方向だけを明確に示し、目標に到達するプロセスは学生自身に考えさせる……。そんな先生でした。同時に“ものごとを現状の延長線上のみで捉

えてはいけない」という研究者としての基本姿勢を学びました」

卒業後は、ポーラ化成工業に入社。2005～08年には、より研究の幅を広げたいと理科大の博士後期課程に入学。毎週土曜日に野田キャンパスまで通って研究に取り組んだ。

「社会を経験した後で大学に戻ると、自分がいかに恵まれた環境で研究していたかを再認識することができました。研究設備はもちろんですが、人的資源の豊かさは理科大の財産だと思います。さまざまな分野のエキスパートたちが集まる場で、改めて新鮮な刺激を受けました」

博士後期課程を修了した2008年、自身の研究成果を“化粧品業界のオリンピック”といわれる「国際化粧品技術者会連盟（IFSCC）世界大会」で発表する機会を得る。演題は「セラミド-2を1%配合

したローションによる皮膚バリア機能の強化」だった。「セラミドは、肌のバリア機能や水分保持機能を担う角層細胞間脂質の主成分です。この研究では、化粧水への配合が難しいとされてきたセラミド脂質を1%の濃度まで透明な状態で製剤化する技術を確認しました。その結果、バリア機能を高める透明化粧水を新たに世に送り出すことができたのです」

現在はスキンケア開発室長として20人の研究者を率いる赤塚さん。リーダーとしての在り方を模索する中、いまも心に浮かぶのは阿部教授の姿だという。

「若い研究員の仕事ぶりを見ながら“自分ならこうするのに”という思いをグッとこらえて見守っています（笑）。若々しく、美しくありたいというお客様のニーズにゴールはありません。現状に満足せず、常に新たな価値を追い求めていきたいと思います」

平成27年度経常費補助金

日本私立学校振興・共済事業団は、平成27年度の私立大学等経常費補助金の交付状況を発表しました。

これは、①私立大学等（大学・短大・高専）の教育研究条件の維持向上、②学生の修学上の経済的負担の軽減、③私立大学等の健全性向上に資するために、経常的経費について補助するもので、全国の877校に対して、3,174億2,449万9,000円が交付されました。

本法人においては、東京理科大学が28億8,513万2,000円（前年度28億5,945万9,000円）、山口東京理科大学が8,621万3,000円（前年度1億7,532万2,000円）、諏訪東京理科大学が1億9,206万3,000円（前年度1億9,023万9,000円）となり、総額では前年度に比して減額となっています。この主な要因としては、山口東京理科大学において入学者が大きく増加し、事業団が定める「補助金が不交付となる入学定員超過率」を超えたため減額されたことが挙げられます。（入学者が一定の割合を超えた場合、補助金が不交付または大幅な減額となります。）

なお、平成25年度からスタートした「私立大学等改革総合支援事業」（教育改革や地域・産業界との連携に取り組む大学を選定して支援する事業）については、全国で746校が申請し、うち421校が選定されました。本法人では3大学ともに選定され、合わせて2億6,422万8,000円（前年度2億7,469万8,000円）が補助されました。

平成27年度私大補助金 交付額上位20校

1	日本大学	95.2
2	早稲田大学	90.2
3	慶應義塾大学	82.5
4	東海大学	64.9
5	立命館大学	61.3
6	順天堂大学	56.2
7	昭和大学	51.7
8	北里大学	44.4
9	近畿大学	44.2
10	明治大学	41.1
11	福岡大学	35.9
12	関西大学	35.3
13	東京慈恵会医科大学	33.5
14	帝京大学	30.1
15	関西学院大学	29.7
16	日本医科大学	29.1
17	東京理科大学	28.9
18	東京女子医科大学	28.7
19	法政大学	28.7
20	同志社大学	28

（単位：億円）

進路

学部全体で 94.5%が 進路決定

平成27年度（3月末時点）における本学の進路決定率は、学部で94.5%（昨年度92.3%）、大学院修士課程で97.5%（昨年度94.6%）となり、昨年度を上回る結果となりました。

本学の進路の特徴として、例年約5割の学生が大学院に進学するほか、就職先としては企業、公務員、教員と多岐にわたり、従来から高い就職率を維持しています。キャリアセンターでは、進路ガイダンスを通じて就職活動に必要なさまざまな情報の提供をはじめ、自己分析や業界研究、就職活動の際のマニュアル本として携帯できる「就職活動手帳」なども配付し、就職活動中の学生をサポートしています。

一方、平成29年3月卒業の学部4年および修士課程2年生からの就職活動スケジュールが、3月広報活動開始、6月選考開始と変更になり、就職活動期間が短縮する中、早い時期から業界・職種を研究し、自分なりの計画を立てる必要があります。特に就職活動をする学生にとっては定期試験や卒論・修論の準備など、学事日程と重なる中、企業の採用動向も流動的と予想されるため、事前の準備が重要となります。

本学では3月の広報活動開始時期に合わせ、各キャンパスで、上場企業をはじめ、その関連企業や今後成長が期待される優良企業など、延べ300社以上の企業による学内会社説明会を開催しました。

各キャンパスには、常時専門のキャリアカウンセラーを配置して、エントリーシートの添削、面接指導等を実施していますので、積極的にキャリアセンターをご利用ください。

●平成27年度主要内定先(多数順)

企業	※(株)は省略	内定者数
日立製作所		25
NTTデータ		19
三菱電機		19
KDDI		18
JR東日本		18
NECソリューションイノベータ		18
野村総合研究所		17
キヤノン		16
清水建設		16
NTT東日本		15
クインタイルズ・トランスナショナル・ジャパン		15
NEC		15
SCSK		12
みずほ情報総研		12
NTTコミュニケーションズグループ		12
東京電力		12
日本アイ・ビー・エム		12
ソニー		11
富士通		11
JR東海		11
竹中工務店		11
みずほフィナンシャルグループ		10
トヨタ自動車		10
パナソニック		10
IHI		10
大和証券グループ本社		10
大成建設		10
オリンパス		10
アズビル		10

公務員	
東京都	25
神奈川県横浜市	9
千葉県	7
国土交通省	5
経済産業省特許庁	4
防衛省航空自衛隊	4
千葉県船橋市	4

教員	
公立（中学・高等学校）	87
私立（中学・高等学校）	50

新任職員

4月1日付で
新採用の
職員9人を
紹介します。



人事部	人事課	カフベ 河邊	志保
大学企画部	学事課	ユウカ 清水	柚香
野田事務部	庶務課	小関	あゆ美
葛飾事務部	庶務課	齊藤	優介
学生支援部	学生課（神楽坂）	アキエ 佐藤	瑛絵
学生支援部	就職課（神楽坂）	松川	瑠里子
研究推進部	研究推進課（野田）	高橋	翼
諏訪東京理科大学事務部		中林	遼太
諏訪東京理科大学事務部		鶴田	侑己

悼

綿貫秀一 准教授
（教育支援機構教職教育センター）
平成27年12月27日逝去されました。59歳。

浜田修一 本学名誉教授・元教授
（理学部第一部 応用化学科）
平成27年12月31日逝去されました。87歳。

芳賀敏郎 元教授
（工学部第一部 経営工学科）
平成28年1月24日逝去されました。88歳。

福岡正巳 元教授
（理工学部 土木工学科）
平成28年1月27日逝去されました。98歳。

飯村一賀 本学名誉教授・元教授
（理学部第一部 化学科）
平成28年2月28日逝去されました。86歳。

酒井俊道 本学名誉教授・元教授
（工学部第一部 機械工学科）
平成28年4月6日逝去されました。79歳。

発行所

東京都新宿区神楽坂1-3 東京理科大学広報課
☎03-3260-4271 http://www.tus.ac.jp/